

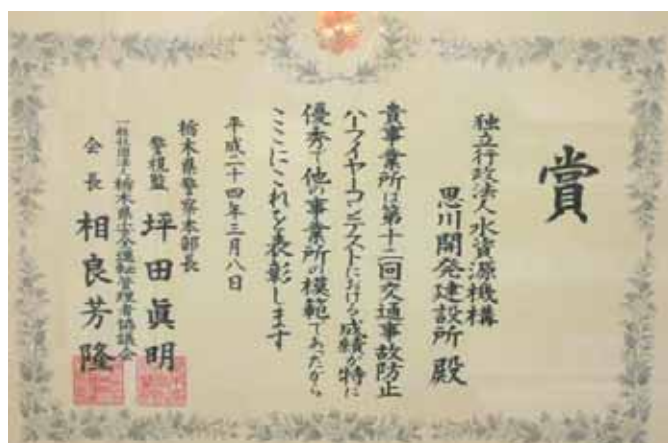
河川の連携・地域をつなぐ明日への水 思川開発

# 思川だより

独立行政法人水資源機構 思川開発建設所



## 交通事故防止ハーファイヤーコンテスト受賞で表彰されました



去る3月8日に、栃木県警察本部長及び栃木県安全運転管理者協議会から「交通事故防止ハーファイヤー・コンテスト」において成績が優秀だったとして表彰していただきました。これは、昨年7月から12月までの6か月間を対象とし、安全運転管理者選任事業所が管理する車両及び従業員が所有する車両の交通事故0（ゼロ）を目指すことを目的にしたもので、平成23年度に当

事務所が取り組んだ、鹿沼警察署による安全運転講習の実施や安全運転コースによる模擬体験の実施、施工関係者を交えた講習会の開催などを評価していただいたものと思います。

また、その甲斐あって平成23年度は一件の交通事故もありませんでした。今後も職員一同、安全運転に留意して行きたいと思えます。



## 平成23年度は労働災害ゼロを達成

思川開発事業では、平成22年度に労働災害が多発したため、平成23年度の年間重点目標を『もう起こさない「労働災害ゼロ！」安全は時間と心のゆとりから』と定め、第三者災害防止をはじめとする工事中の安全第一を重要課題として工事を進めてきました。

工事受注者による安全管理の取り組みに加えて、機構においても定期的に職員による安全パトロール等を行うなど受注者発注者一体となって取り組んだ結果、平成23年度は労働災害ゼロを達成しました。



安全パトロールの様子



## 南摩ダム関連工事の進捗状況

県道上久我都賀栃木線改良工事は、平成19年9月に昭和工区から着手しました。本路線工事の最初の工事であるため工事中はご不便ご迷惑をおかけしましたが、皆様のご理解とご協力を経て、室瀬橋の改良工事もちまして昭和工区から三ツ石工区まで完成させることができました。

これにより、県道改良工事の進捗率は約93%になっています。



室瀬橋附近（改良前：昭和方面から室瀬方面をのぞむ）



室瀬橋附近（改良後：昭和方面から室瀬方面をのぞむ）

付替県道工事は、現在3工事を実施しています。工事場所は、杓子沢地区で2件（杓子沢第5工区、第6工区）、栗沢から笹之越路区間で1件（1号トンネル）となっています。

杓子沢地区につきましては、山を切り崩して擁壁を築造して、道路を新設する工事を施工しています。この区間は橋梁（延長=49m）を設置する計画となっており、今回の工事では、橋の下部を築造するものです。現在2基の下部工のうち1基は完成しました。

思川だよりの前号でも紹介した1号トンネルは、平成23年8月4日に貫通し、トンネル掘削と同時に内面のコンクリート（覆工コンクリート）打設を行い、昨年12月23日に完了させました。

3月にはトンネル内部のコンクリート舗装が完了し、現在はトンネル出入口の整備を行っています。

今後も公道通行時のマナーなど、機構職員をはじめ、請負者及び作業員まで周知できるよう指導を行っていきたいと考えていますので、引き続き、ご理解ご協力お願いいたします。



杓子沢第5工区工事（7号橋下部工）



1号トンネル工事（栗沢側）



## 環境保全の取組について

### 生態系保全委員会現地視察会、第12回委員会の開催

思川開発事業では、学識者・専門家からなる「思川開発事業生態系保全委員会」を設置し、委員会の指導・助言を得ながら環境保全に取り組んでいます。

12月1日に委員の先生を招き、事業の状況や環境保全の状況についての視察会を実施しました。視察会では、環境保全地の整備状況や、在来種子を利用した法面緑化状況等を視察され、環境保全対策等についての貴重な助言等を頂きました。

また、3月25日には第12回委員会を開催し、オオタカ他、事業の影響を受ける重要な動植物に対する環境保全対策の実施状況と今後の計画等について熱心にご議論頂きました。この委員会の資料と議事要旨は、近日中に当建設所ホームページに掲示します。



生態系保全委員会現地視察会

### 環境学習会の開催

12月15日に、栃木県自然観察指導員連絡協議会長の渡邊先生をお呼びして、「自然の命を見つめて～自然のしくみを考える～」と題した講演会（環境学習会）を実施しました。主に鹿沼に生息している生き物を写真にて紹介しながら、生態系のしくみや、自然との調和にどういった観点が必要なのか、また、ダム湖を利用した地域活性化のヒント等充実した内容の講演でした。さらに講演の最後には、木片を利用した工作もあり、参加者一同童心に帰って(?)作業していました。とても楽しい有意義な学習会となりました。



環境学習会

### オオヒキヨモギ（大引蓬）

近年、事業用地内では確認されておらず、保全を実施出来ていなかった貴重植物のオオヒキヨモギが、昨年秋に確認されました。オオヒキヨモギは、ゴマノハグサ科の一年草で半寄生植物です。環境省レッドデータブックで絶滅危惧種Ⅱ類に指定されており、思川開発事業では保全対象種としています。確認した一部について、植物の保全地へ移植・播種を行いました。



## 人 事 異 動

10月 1日付け	転出	第一用地課長	板 野 龍 磨	(霞ヶ浦用水管理所)
		工事課	高 橋 隆 士	(利根川下流総合管理所)
		工事課	佐々木 優貴子	(下久保ダム管理所)
	転入	工事課	引 地 隆 久	(沼田総合管理所)
12月31日付け	転出	第二用地課	渡 辺 淳 一	(国土交通省)
3月22日付け	転出	工事課	青 柳 利 幸	(総合技術センター)
3月31日付け	転出	環境課長	松 浦 旬	(環境省)
		工務課長	稲 木 敏 行	(国土交通省)
		調査設計課	伊 藤 壮 志	(国土交通省)
4月 1日付け	転出	総務課	荒 木 佐 知	(草木ダム管理所)
		調査設計課長	荒 川 敏 之	(本社)
		調査設計課	泉 明 良	(豊川用水総合事業部)
		環境課	米 丸 公 輔	(岩屋ダム管理所)
		工務課	池 上 眞 二	(荒川ダム総合管理所)
		工務課	笠 原 昌 人	(利根川下流総合管理所)
		工事課	田 中 英 範	(木曽川用水総合管理所)
	転入	総務課	村 井 英 克	(中部支社)
		第二用地課長	杉 田 康 司	(荒川ダム総合管理所)
		第二用地課	北 間 雄 貴	(新規採用)
		調査設計課長	前 田 剛 宏	(朝倉総合事業所)
		調査設計課	坂 本 信 也	(総合技術センター)
		調査設計課	對 島 和 孝	(大山ダム建設所)
		調査設計課	佐 瀬 勝 亮	(木津川ダム総合管理所)
		環境課長	佐 藤 英 一	(琵琶湖開発総合管理所)
		工務課長	徳 添 桂 一	(朝倉総合事業所)
		工務課	石 渡 俊 弘	(木津川ダム総合管理所)
	所内	第一用地課長	河 田 洋 弥	(第二用地課長)
		第一用地課	岩 原 典 和	(第二用地課)
		第二用地課	福 島 知 巳	(第一用地課)
		工事課	森 原 直 紀	(工務課)

## 編集 後記

今年の冬はかなり寒かったですが、やっと春らしさを感じる今日この頃です。木々は年ごとに大きくなり枝振りも変わってくように、当事業も着実な進捗をみたいものですが、ご協力いただきました皆様方には、今暫くのご猶予をいただきたいと思っております。また、思川だよりの発行が遅くなってしまう申し訳ありませんでした。

編集・発行所



独立行政法人水資源機構 思川開発建設所

〒322-0305 栃木県鹿沼市口栗野 839-2

Tel (0289)85-1110 Fax (0289)85-1211

<http://www.water.go.jp/kanto/omoigawa/index.html>